資料２

東京2020大会気運醸成・ホストタウン・共生社会ホストタウンの取り組みイメージ

2019（H31）年度当初予算 **257,881 千円**

（単位：千円）

2018（H30）　2019（H31）　2020　2021～

オリンピック　7/24（金）～8/9（日）
パラリンピック　8/25（火）～9/6（日）

レガシー

共生のまち世田谷の実現
～「オール世田谷」で笑顔のおもてなし～

オリンピック・パラリンピック気運醸成

盛り上がり

予算額：128，264千円

7・8月 気運醸成イベント

予算；55，801
○花のおもてなしプロジェクト
○スポーツ施設の無料開放・体験イベント　など

気運醸成 大会直前期 イベント

大会期間中の取り組み（賑わいの創出）
・コミュニティライブサイト
・パブリックビューイング

・生涯スポーツの推進

500日前　400日前　300日前　200日前　100日前ほか

継続した気運醸成イベント　予算；72，463
○東京2020大会1年前イベント
○まちなか観光馬車運行事業
○ボランティア推進事業　など

ホストタウン・共生社会ホストタウン

認知度

予算額：129，617千円

USOC（アメリカオリンピック委員会）との交流（ホストタウン）　予算；14，240
○エキシビジョンマッチ
○小児医療施設訪問　など

・交流の継続

区民とアメリカ合衆国関係者との交流（ホストタウン）　予算；49，366
○国際スポーツ大会等で来日する選手等との交流
○文化・芸術交流
○米国大使館等との交流事業
○日米文化交流イベント（ゴスペル、アメリカンミュージック）　など

区民とアメリカ合衆国関係者との交流（ホストタウン）【拡充】
○大会後のオリンピアン・パラリンピアンとの交流の創出
○米国大使館等との交流事業の更なる機会の充実
○国内外の自治体とのホストタウン連携・交流の推進　など

・多文化・多様性の理解

・ボランティア文化の定着

共生社会ホストタウン事業の推進　予算；66，011
○区民とアメリカ合衆国パラリンピアンとの交流
○障害者スポーツの推進
○ユニバーサルデザインのまちづくり　など

共生社会ホストタウン事業の推進【拡充】
○障害のある人ない人とのスポーツを通じた交流の活性化
○イベントに携わることによるボランティア意識の醸成
○商店街に対する段差解消用スロープ等の合理的配慮物品助成　など

・障害者スポーツの推進

・障害者の外出環境の向上と障害理解の促進

（2020年の内容は、現時点における想定）